

仁我浦お囃子練習会(竜宮松風)



会の代表石井さんは30才まで和田を離れ、東京で仕事をしていた。故郷に帰ってきてお祭りに参加した時、囃子が高齡化していることに驚きました。このままでは地域のお囃子が絶えてしまつて

そう感じた石井さんは、お年寄りのところに自ら習いに行つたり、講習会を開いたりして再学習に取り組みました。それと共に、地区の子とも達に呼びかけ、「仁我浦お囃子練習会(竜宮松風)」を立ち上げました。会の目標は、「郷土(和田)のお囃子の伝承と、房州内外のお囃子習得」だということです。そして、これらを通して「地域のお祭りの存続(盛り上がり)」や「ふるさとを愛する心を育てること」、「地域の絆」への目指しているとのこと。



し、練習の補助をしてくれたりするそうです。加えて、お祭り好きのお母さんも時々加わる方が……。取材日には、10月8・9日のお祭りが近づいているため、会場は熊野神社に移されています。が、確かに中高生や近所のお祭り好きの……失礼かな? 苦いお母さんが、お子さんを連れて参加していました。加えて、他地区の中高生も練習に参加、熱心に練習していました。指導者は、石井さんを含め3人、40歳代の小柴さん、



練習日 毎月 第2・第4日曜
場所 コミセン2階 視聴覚室
練習曲 馬鹿囃子 道中
びつとこ

しつちよめ
神田囃子 四丁目 にち挑戦

現在、小学生(男子10人、女子6人)を中心として、練習会が行われています。しかし、小学生だけでなく卒業した中高生もよく顔を出

指導後、みんなで合わせて練習

指導する石井さん

「くじら料理と月見の会」での発表

イベント「さよならわだ役場」での発表

発行者 南房総市・和田地域づくり協議会「WAO!」
連絡先 南房総市役所和田支所内 地域づくり支援員
電話 支援員 0470-47-5955
支所 0470-47-3111
E-mail qq4u9y89n@royal.ocn.ne.jp

NPO法人「WAO!」 誓



わだいきき24号でお知らせしましたが、「WAO!」の法人登記手続きが完了し、晴れて8月5日「特定非営利活動法人(NPO法人)和田地域づくり協議会「WAO!」」が誕生しました。改めて、役員等をご紹介します。

- | | | |
|----------|-------------------|-------|
| 会長 佐藤 良一 | 副会長 藤原 秋治 | 信川 文紀 |
| 会計 長島 富郎 | 監事 宍田 實 | 庄司 美佳 |
| 理事 佐藤 良一 | 藤原 秋治 | 信川 文紀 |
| 石井 英毅 | 藤原八千代 | 内田 守 |
| 押元真理子 | 川名 正敏 | 北見 和美 |
| 黒川 操 | 高橋 一男 | 辻 貞夫 |
| 鳥海 達男 | 長島 富郎 | 長谷川 勲 |
| 羽山 光枝 | (会長・副会長以外はいずれも顧問) | |



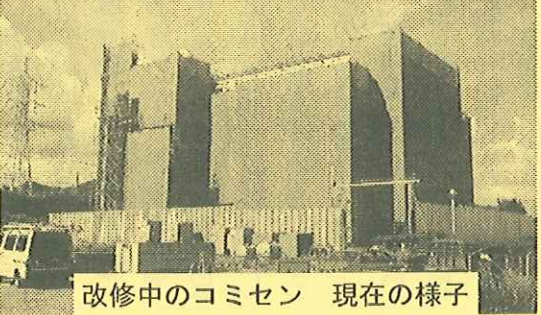
わだいきき WAO! だいきき

市の基本計画には、「市民協働」が掲げられています。その為に、各支所に「市民協働推進室」が設けられました。和田支所には小原晴喜さん(室長)、鶴谷貴之さんが配属され、地域づくり事業等の指導や支援を行っています。またこの度、NPO法人「WAO!」が、「地域振興中核施設」の管理団体として指定を受ける準備を支援する為、十月後半から支援室に1名の臨時職員が配置される予定です。指定管理を受けるには、色々な準備が必要で、「施設の管理方針や内容、規則」「防災や安全管理の為の方策」「管理組織や事業、収支の計画」の作成等々。「WAO!」は、和田協働推進室のメンバーと協働し、より良い運営ができるよう準備をしていきます。このように、「WAO!」が指定管理団体となる為の環境づくりは、確実に進んでいます。

NPO法人和田地域づくり協議会「WAO!」は、いつでも会員を募集しています。入会を希望する方は、惠のページの支援員までお電話をいただければ結構です。

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 佐粧 会長 | 榎原 副会長 | 信川 副会長 | 小原 室長 |
| 石井 英毅 | 鶴谷 副主査 | 白井 支援員 | 田島 支援員 |

会員募集



元禄地震の津波に係わる言い伝え等が新聞に載りました

THE YOMIURI SHIMBUN
読賣新聞 9月8日(木)

和田の朝日新聞

THE ASAHI SHIMBUN DIGITAL
8月11日(木)

「おぼぎ山」の物語、絵本に

思い出の南房総舞台、実在の山

柏市の山口祐子さん(左)と知子さん(右)が、絵本「おぼぎ山のぼんぼん」を初出版した。



柏の親子、山口祐子さん・知子さん

ペンネームは、母が「七つ星の山」、娘が「三つつかさ」。小学校教師の祐子さんが文、余任員の知子さんが絵を担当した。おぼぎ山、祐子さんの出身地、南房総市の和田浦が舞台。実在するおぼぎ山(約40分)頂上の「小さな社(ごんぼら様)」を巡って展開する。

震災前に発刊、偶然津波の話も

んぼらは元々インドの水の神様とワニの姿をモチーフに温かい表情を添えて描いた。「昔、夏休みに祖母の家に遊びに行ったら、おぼぎ山を見ました」

南房総は1773年、元禄大地震に見舞われた。祐子さんの実家が押し寄せたといわれる。津波が押し寄せたのは、偶然津波にまつても書かれた。おぼぎ山は、津波から村人を救ったのだ。

「ずっと昔に、おぼぎ山のつづべんが、燃えているように光ったことがあった。その時、おぼぎ山に響くと、光は消えていって海が高くなり上がった。大つなみがおぼぎ山に響くと、(略)村の人は全員助かったという言い伝えが(略)あるそうだよ」

絵本はA4判40頁で定価1400円。全国の書店、インターネットなどで販売している。問い合わせは、発行の文芸社(03・5369・3060)へ。(若林幹生)



「京塚さん」に見守られ



「京塚さん」に花を手向ける岡田さん

【南房総】和田町の和田浦海水浴場近くの高台「京塚さん」と呼ばれる供養碑が立てられている。古来の言い伝えでは、元禄大地震の津波で亡くなった人たちが埋葬されているという。

1703年の元禄大地震で、房州一帯は津波に襲われた。所によっては高さ10メートルを超え、大勢の犠牲者があったといわれている。

京塚に初められた碑文によれば、明治29年(1896年)、普請のため隣地を掘り起こしたところ、昔の骨がゴロゴロと出てきて、村人たちが御天さ

た。村人たちは津波で亡くなった人たちの無念さを哀れみ、懇ろに弔ったという。和田の老人たちは、「京塚さん」を大切に守り続けてきた。

当代の世話係、岡田公子さん(73)は、草取りしたりお花を供えたりしながら、「なんもたいたしなごもなし。自分が好きで勝手にやってみよう」と笑う。一方で、「大昔、津波で死んだ人たちが忘れ去られたかわいそう」とも。

「自分も京塚さんに守られている気がする」という岡田さん。今は後を継いで世話をしてくれる人がいないのか、それが心配の種だという。(岡田恵美子)



現在のごんぼら様の様子

「京塚さん」は、毎年お祭りに来てくれる人は、だいたい20〜30人くらいだけ。ごんぼら様のことが絵本になったから、次のお祭りには、事前に房日に知らせて記事に載せてもらい、もっと多くの人達にお参りして頂けたら」と。

絵本「おぼぎ山のぼんぼん」は、和田「ミヤン」にも置いてあり、現在閲覧が可能です。支所にお立ち寄りの際には、是非一読下さい。

防災が注目されるこの時期、奇しくも和田の故事が、近接して新聞に取り上げられました。

おぼぎ山(台)のごんぼら様は、昔から仁我の吉野家、伊藤家の2軒でお守りしてきたそうです。また、毎年1月10日には、この2軒が主催して、お祭りを行っているとのこと。

吉野さんは、「絵本に出てるお社にも、本物と同じにちゃんと倒れている木が書かれていますよ」とおっしゃいました。そこで、行ってみると確かにその通り。きちんと取材をして、この絵本の挿絵が描かれたことが分かります。

また、吉野さんはこのようにもおっしゃっていました。「毎年お祭りに来てくれる人は、だいたい20〜30人くらいだけ。ごんぼら様のことが絵本になったから、次のお祭りには、事前に房日に知らせて記事に載せてもらい、もっと多くの人達にお参りして頂けたら」と。

歩け歩け大会

「歩け歩け大会」を実施しました。第2シリーズの講座は、文化的な内容から体育的な内容にまで幅を広げたもので、大人から子供まで気軽に参加していただくという企画です。

今回の「歩け歩け大会」のねらいとしては、「健康ついでに、絆ついでに」加えて、「環境資源としての和田の海岸の良さを再発見しよう」「海岸をもっときれいにしよう」などがありました。

8月21日(日)、寺子屋講座の第2シリーズとして、三島海岸から花園の海岸まで砂浜コースで、



歩く前に標高と津波についての説明



生きがい部会員を中心に13人が参加



長谷川部会長から本講習会の趣旨説明



副会長からGゴルフのルール等の説明



雨の中、大原海岸でもビーチクリーン



白渚海岸で3回目のビーチクリーン

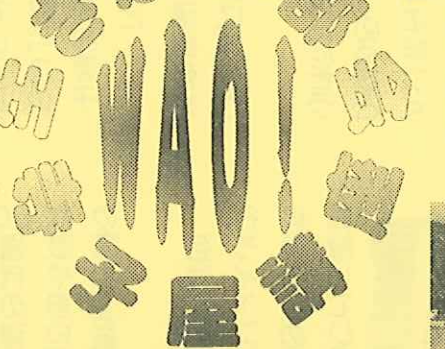


和田の龍宮様でそれぞれのお願いを！



最後に和田支所前で記念撮影

「第1回の歩け歩け大会には、残念ながら16名の参加にとどまりましたが、回を重ねるごとに多くの参加者が集う大会に成長させていきたいと考えています。皆様の、次回の参加をお待ちしています。」



実技を見ながら指導する川洲会長

ブランドゴルフは、まず会員内で講習会を行い、その次に住民対象の大会を目指すこととなります。

そこで、和田地区ブランドゴルフ連盟の役員さんに講師をお願いし、会の運営やゲームの進行、ルールについて教えてもらうことになりました。

当日は、会長の川洲善治さん、副会長の鈴木正さんが講師として参加して下さいました。

しかし、大会運営には色々な要素があり、ルールの周知や進行等にも、今少し熟練が必要のようです。



ブランドゴルフ講習会

9月18日(日) 和田地区ブランドゴルフ講習会



初心者とはいえ、ホールインワンも出ました